

【メンテナンス戦略小委員会(第2期)の検討事項】

「メンテナンス技術の国際化」

現在、取り組みを進めているところであり、現状認識は以下の通り。
今後、実践状況を踏まえた施策の具体化を検討。

現状	<ul style="list-style-type: none">我が国のインフラ管理のノウハウは、類似する社会経済条件・国土条件を有する他国でも有効。一方、これまで、メンテナンス技術に関する国内企業の海外展開に向けた活動は非活発。また本邦技術の国際規格化や各国規格への浸透は低調。
検討の視点	<ul style="list-style-type: none">国際協力の推進と海外市場の獲得の両方の観点からの検討が必要。相手国ニーズの把握、官民連携。新技術(例:センサー、非破壊検査技術、ロボット、CIM等)の国内での導入・普及の推進とともに、海外展開も視野に入れた戦略的検討が必要。

【その他の検討事項】

上記のほか、小委員会(第2期)でこれまでご議論頂いた3つの事項や昨年5月に策定された「国土交通省インフラ長寿命化計画」等に基づく種々の取り組みをさらに進めた上で、社会資本の老朽化対策の実績等を踏まえつつ、今後、しかるべき時期に施策の具体化のため検討。

例えば、以下のような項目が想定。

「ICT等を活用した維持管理・更新技術の開発・導入」

「メンテナンス分野への異分野産業の参入」

「維持管理・更新における民間活力の活用方策」